



# まちの話題



5月1日[Wed]

## 多久市市制施行70周年記念式典



横尾市長



山口知事

多久市市制施行70周年を祝し、中央公民館で記念式典を挙行了しました。

式典では、横尾俊彦市長が「炭鉱の隆盛とともに発展の歩みを進めた多久市は、エネルギー政策転換以降は財政を見直し、今では総合計画を基本に市政発展へと努めています。教育面では、ICT教育の義務教育部門で2年連続の全国1位をいただきました。これまでいかなる時も支えてくださった市民のみなさんに感謝し、未来への飛躍をめざします」と式辞を述べました。

市政功労者表彰（受賞者は4ページに記載）の後、来賓の山口祥義佐賀県知事から「これまで草場佩川や高取伊好など、数多くの偉人を輩出してきた多久市は、長きにわたって教育に力を注ぐ素晴らしい地域です。文化・スポーツ面でも目覚ましい活躍の数々を聞き及んでいます。土地柄や歴史を生かすにも、やはり人がすべてです。これからも人を大切にされ、多久市がより一層盛り上がることを心から願っています」と祝辞をいただきました。

さらに、考案されたロゴマーク216点の中から最優秀賞および優秀賞を受賞された生徒4人の表彰を実施。式典後には多久ミュージカルカンパニーによる舞台が披露され、市制施行70周年をお祝いしました。



▲表彰を受けたみなさん（写真右から）  
最優秀賞：三ヶ島幸さん（東部校9年）  
優秀賞：泉和磨さん（西溪校8年）、吉田梨紗さん（西溪校8年）、古賀聖来さん（東部校6年）



▲感動を呼んだ多久ミュージカルカンパニーの公演「未来への架け橋」

5月12日[Sun]

## JR九州ウォーキング開催！



▲雨の中、参加者のみなさんはウォーキングをしながら、ウォールアートを楽しめました

多久市市制70周年記念事業の一環で、JR九州ウォーキング（主催：佐賀鉄道事業部、共催：多久市・多久市教育委員会）を開催しました。

当日は雨の中、レインコートや傘をさした参加者がJR多久駅を元気に出発。富永ボンドさんのアートスタジオや国スポ施設など7つのスポットが点在した7.7kmを歩き、多久の「今」を体感しました。

市外からの参加者は「多久市はたくさんのアート作品があふれていて素晴らしいと思いました。国スポが開催される新たな施設も見学し、とても楽しかったです。知らなかった多久市の良さを発見できました」と笑顔で話されました。

